

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：教育費 項：教育総務費 目：教育指導費

事業名 へき地教育振興会補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

教育委員会 学校支援課 総合支援第一係 電話番号：058-272-1111 (内 3699)

E-mail：cl7782@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 360千円 (前年度予算額：360千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄 附 金	そ の 他	県 債	一 般 財 源
前年度	360	0	0	0	0	0	0	0	360
要求額	360	0	0	0	0	0	0	0	360
決定額	360	0	0	0	0	0	0	0	360

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

本県は県土の82%が山林におおわれ、山間へき地には小規模な学校が多く存在している。学習指導要領の趣旨を踏まえ、教育課程のさらなる工夫に向けて、教育環境や内容等の充実が必要である。

岐阜県へき地教育振興会は、昭和28年発足以来、へき地教育の環境改善に努め、山間へき地における学校教育の振興を図るための事業を実施している。

当振興会が実施する事業は、県のへき地教育の充実に重要な役割を担っており、引き続き当振興会の事業活動の補助を行う。

(2) 事業内容

へき地教育の研究や「岐阜県のへき地教育」の刊行など、当振興会が実施する事業に要する経費の一部を補助する。

(3) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	360	岐阜県へき地教育振興会への補助
合計	360	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 国・県の状況

少子化・人口減少社会により各学校の小規模化が進んでおり、へき地学校及び複式学級を有する小規模校における教育の充実が求められている。

県単独補助金事業評価調書

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

補助事業名	へき地教育振興会補助金
補助事業者（団体）	岐阜県へき地教育振興会 （理由）へき地の市町村が加盟する、へき地教育の振興を行う団体であるため。
補助事業の概要	（目的）岐阜県のへき地教育水準の向上を図る。 （内容）へき地教育の環境改善や学校教育の振興を目的とした事業活動を補助する。
補助率・補助単価等	定額・定率・その他（例：人件費相当額） （内容）360千円 （理由）団体の事業費の一部を補助する目的のため。
補助効果	へき地指定校における教育の環境の改善
終期の設定	終期 令和5年度 （理由）へき地教育の振興を図るため翌年以降も継続

（事業目標）

<p>・ 終期までに何をどのような状態にしたいのか</p> <p>へき地教育の環境改善や学校教育の振興を目的とした事業活動を補助することで、岐阜県のへき地教育水準の向上を図る。</p>
--

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (H**年度末)	目標 (R3年度末)	目標 (終期)
①へき地教育において顕著な成果を上げた教員の表彰		7人	10人

	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度 (要求)
補助金交付実績	36千円	36千円	36千円	(予算額) 36千円	(要求額) 36千円
指標①目標	5	5	6	6	7
指標①実績	5	5	7	(推計値) 6	(推計値) 7
指標①達成率	100%	100%	120%	(推計値) 100%	(推計値) 100%

（前年度の成果）

<p>岐阜県へき地教育振興会より、へき地教育において顕著な成果をあげた教員の表彰を行うことで、へき地校における教育水準の向上に寄与することができた。</p>
--

(今後の課題)

・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項

岐阜県のへき地教育水準のさらなる向上を図るために、教員の指導力の向上を目指した取組を充実させる。

(事業の評価)

・ 事業の必要性 (社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か)

○ : 必要性が高い △ : 必要性が低い

(評価)

○

岐阜県のへき地教育水準の向上を図るために、また、教員の指導力の向上を目指した取組を充実させるためにも、事業の必要性が高い。

・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)

○ : 概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている

△ : まだ期待どおりの成果が得られていない

(評価)

○

岐阜県へき地複式教育研究会が行う研究会へ援助や、冊子「岐阜県のへき地教育」の刊行等により、へき地校における指導改善に寄与することができており、へき地校における少人数指導の充実を図るとともに、実践の成果を県内各校に普及するなどの事業効果が現れている。

・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか)

○ : 効率化は図られている △ : 向上の余地がある

(評価)

○

岐阜県へき地教育振興会総会を年1回とすることや、事務局を市町村の教育委員会とすることなど、実施方法を見直し、経費の節減と事務の効率化を図っている。

(事業の見直し検討)

へき地教育の充実に向けて、補助金の必要性を検討した結果、今後も継続。

(終期到来時の翌年度以降の事業方針)

継続・削減・統合・廃止

(理由) 岐阜県へき地複式教育研究会が行う研究会等への援助や、冊子「岐阜県のへき地教育」の内容の充実等により、へき地校における教員の指導力のさらなる向上に努めるとともに、指導改善の成果を県内各校に普及し、個に応じた教科指導や生徒指導の在り方などの一層の充実を努める。